



# ビジョン(概要版)

魅力ある境漁港・  
市場へ再出発！



さかいみなと漁港・市場活性化ビジョン（概要版）

背景

強み

- 境漁港は、西部日本海最大の漁港として、水産物取扱量は全国でも有数（H23年全国第3位）
- まき網漁業、べにずわいがに漁業、沖合底びき網漁業、いか釣り漁業、各種沿岸漁業により、四季折々の多種多様な水産物が水揚げされる
- 背後地に大規模加工団地、重要港湾を有するほか、資材、道路、労働力等が揃った港



課題

- 災害への対応（耐震基準未対応）、係留岸壁の充実、漁港利用者の利便性の向上
- 水産資源の減少（S61-H6：50万ト超→近年約10万ト）、魚種組成の変化、魚価安
- 手狭な上屋・荷揚げ岸壁、衛生管理対応の遅れ、市場施設の老朽化
- 魚離れ、消費地ニーズへの対応（食の安全・安心、手軽さ、産地一次加工）、海外消費量の増大
- 水産物直売センターの集客の長期減少傾向、観光分野との連携、食育・魚食普及活動の促進

将来のあるべき姿

社会に信頼され、活力があり、親しまれる漁港・市場

<基本目標>

- ◇災害に強く、消費者の「安心・安全」のニーズに対応した高度衛生管理型の漁港、市場
- ◇付加価値の向上を推進するとともに、大量水揚げ・迅速処理にも対応できる漁港、市場
- ◇新鮮で豊富な水産物を提供し、地域の観光資源となるとともに、地元で愛される漁港、市場

<取組方針と具体的な施策>

信頼される漁港・市場づくり (漁港・市場機能の強化)	活力がある漁港・市場づくり (集荷・販売力の強化)	親しまれる漁港・市場づくり (観光連携及び地域活性化の推進)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○災害に強い漁港、市場                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・地震、津波対策</li> <li>・避難場所の確保</li> </ul> </li> <li>○衛生管理の強化                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・高度衛生管理型市場の整備</li> <li>・高度衛生管理体制の構築</li> <li>・汚水処理施設の改修</li> </ul> </li> <li>○周辺環境の整備                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・係留岸壁の充実</li> <li>・利用者のための施設整備</li> <li>・臨港道路の高潮・振動対策</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○水揚げ物の付加価値向上                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・まき網物の小ロット販売による単価アップ</li> <li>・産地一次加工の検討</li> <li>・境港ブランドの創出</li> <li>・6次産業化の推進</li> <li>・管理記録の保持・情報提供</li> </ul> </li> <li>○水産物の販路拡大                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・活魚出荷の推進</li> <li>・関西でのマーケティング</li> <li>・海外市場の開拓</li> </ul> </li> <li>○陸上処理能力のアップ                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・まき網三者による需給調整</li> <li>・効率的な水揚げができる漁港・市場への再構築</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○観光分野との連携                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・魅力ある水産物直売センターの創出</li> </ul> </li> <li>○漁港見学ツアーの充実                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・早朝セリ見学の実施</li> <li>・見学通路の整備</li> </ul> </li> <li>○食育・魚食普及活動の推進                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食等での地元水産物活用による食育の推進</li> <li>・継続的な水産イベント等による魚食普及活動</li> </ul> </li> </ul>

<ビジョンの位置づけ>

このビジョンは、境港を取り巻く現状とその課題を関係者で共有し、今後の境港の「あるべき姿」について意見集約を行ったものである。

具体的な施策については、できるものは速やかに取り組み、中長期的な課題は、国の高度衛生管理基本計画を念頭に、今後、具体化に向けた検討を進めていく。

【実施スケジュール】

具体的な施策	H24	H25	H26	H27	H28	H29
<b>信頼される漁港・市場づくり</b>						
①災害に強い漁港・市場整備						
ア 地震・津波対策		調査・計画策定	設計	施工		
イ 避難場所の確保						
②衛生管理の強化						
ア 高度衛生管理型市場の整備		調査・計画策定	設計	施工		
イ 高度衛生管理体制の構築						
ウ 汚水処理施設の改修						
③周辺環境の整備						
ア 係留岸壁の充実						
イ 漁港利用者のための施設整備						
ウ 臨港道路の高潮・振動対策	高潮 振動					
<b>活力がある漁港・市場づくり</b>						
①水揚物の付加価値向上						
ア まき網物の小ロット販売						
イ 産地一次加工の検討						
ウ 境港ブランドの創出						
エ 6次産業化の推進						
オ 管理記録の保持・情報提供						
②水産物の販路拡大						
ア 活魚出荷の推進						
イ 関西でのマーケティング						
ウ 海外市場の開拓						
③陸上処理能力のアップ						
ア まき網三者による需給調整						
イ 効率的な漁港・市場への再構築						
<b>親しまれる漁港・市場づくり</b>						
①観光分野との連携						
ア 魅力ある水産物直売センターの創出						
②漁港見学ツアーの充実						
ア 早朝セリ見学の実施						
イ 見学通路の整備						
③食育・魚食普及活動の推進						
ア 学校給食等での食育の推進						
イ 継続的な魚食普及活動						